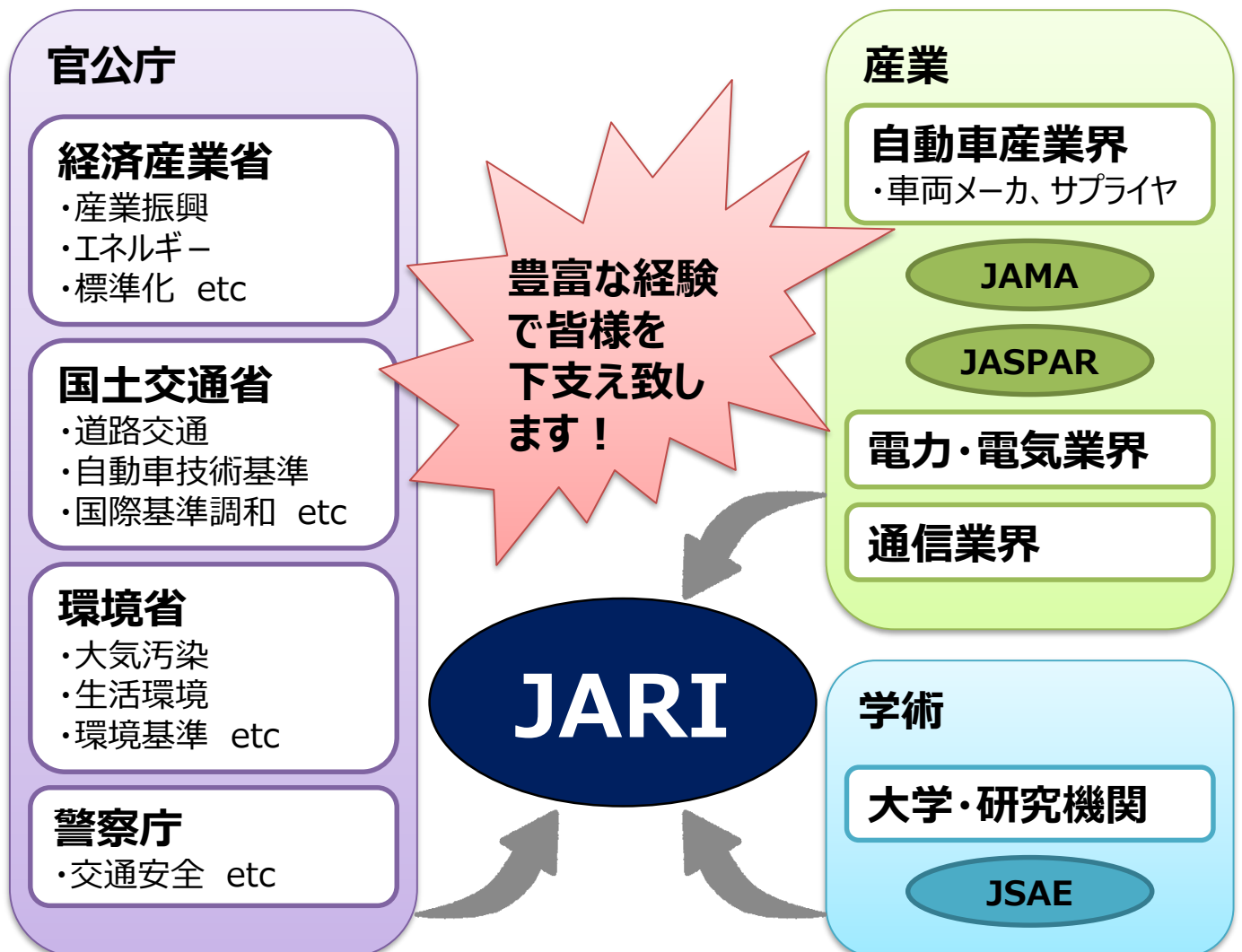


JARIのコンサルティング領域

- **自動車機能安全規格 ISO 26262** の適合支援
- **自動車サイバーセキュリティ規格 ISO/SAE 21434** の適合支援

JARIのコンサルティングの特徴

- **官公庁や自動車工業会からの委託研究実績に基づく豊富な知見**
 - ・ 内閣府「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)」におけるセキュリティ調査（2014年～2016年）、経産省「高度な自動走行システムの社会実装に向けた研究開発・実証事業」におけるセキュリティ調査（2017年～2018年）など
 - ・ 自動車工業会からの、ISO 26262の二輪車/大型車/商用車への適用に関する委託研究、高度運転支援システムに関する委託研究など
- **中立的機関として実施してきた様々な業界活動で蓄積された情報**
 - ・ ISO 26262運営委員会（OEM9社Supplier19社参画）での国内協調活動
 - ・ 自動車機能安全カンファレンス主催（2013年～）
 - ・ ITS産業動向調査結果報告書を毎年刊行





事例1. OEM（機能安全プロセス適合性評価）

【お客様の課題】

提携会社も含めて全社的に統合を推進している機能安全開発プロセスをレビューして欲しい。また、レビューによって得られたプロセス知識を基に、サプライヤの機能安全対応状況をレビューする活動にも参画してもらえないか。

【JARIのソリューション】

共同研究により得られた知見や手法を元に、**OEMの開発プロセスをレビュー**。OEMのサプライヤ選定活動に参画し、サプライヤ能力を評価。経験を活かし、サプライヤ向けにOEMの事情を考慮した**機能安全プロセス導入支援**を実施。



事例2. Tier1サプライヤ（機能安全HARA支援）

【お客様の課題】

汎用車載システムの新規開発に当たり、自社でHARA（ハザード分析及びリスクアセスメント）を実施する際の技術指導、及び結果の妥当性評価を行ってほしい。

【JARIのソリューション】

自工会の委託研究によって得られた知見に基づき、**HARAにおける重要ポイントをレクチャ**。様々なシステムのHARA実施結果の情報を基に、想定される**OEMの設計思想**を考慮し、試行した**HARAの妥当性を評価**して改善点を指導。



事例3：Tier2サプライヤ（サイバーセキュリティプロセス構築）

【お客様の課題】

委託開発におけるサイバーセキュリティ開発能力をアピールするために、ISO/SAE 21434に基づく社内プロセスを構築する。最終的には第三者機関から認証を受けられるように、技術的な支援をしてもらいたい。

【JARIのソリューション】

長年の調査活動で蓄積された法規及び規格要件の知見をベースに、**サイバーセキュリティプロセス構築支援**を実施。合わせてISO規格学習のトレーニングにより**人員のスキルアップ**にも貢献。

